

立川市立学校における医療的ケアの実施に関するガイドライン（案）について

1. 目的

学校に在籍する医療的ケア児は、全国的に年々増加するとともに、人工呼吸器による呼吸管理等を必要とする医療的ケア児が学校に通うようになるなど、医療的ケア児を取り巻く環境が変わってきております。

また、令和3年6月に「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」（以下「医ケア児法」という。）が成立し、同年9月に施行されました。医ケア児法では、国及び地方公共団体等は、医療的ケア児に対して教育を行う体制の充実等を図ることが求められています。

これらを踏まえ、今回、立川市立学校に在籍する、日常的に医療的ケアが必要な児童・生徒に対し、安全で適切な医療的ケアを実施するとともに、医療的ケア児が安心して学校生活を送ることができるよう、学校における医療的ケア実施の基本的な考え方についてガイドラインとして示します。

2. これまでの経緯

平成31年度より発足した「立川市医療的ケア児支援関係者会議」（学識経験者及び、保健医療関係機関、障害福祉関係、保育関係機関、教育関係機関、関係行政機関の各職員で構成）で「実態調査・ニーズ調査、事業所調査」（平成31年度～令和2年度）、「調査結果のとりまとめ、課題整理」、「相談窓口リーフレット作成・配布」（令和3年度）を行ってきました。その中で、学校及び保育園におけるガイドライン策定の必要性が導き出されました。この必要性や医ケア児法等を踏まえ、学校のガイドラインの策定作業を進めており、教育委員会内での検討、医師、小・中学校長及び令和4年度第2回立川市医療的ケア児支援関係者会議等での意見聴取などを行ってきました。

3. 医療的ケアとは

医ケア児法で、「人工呼吸器による呼吸管理、喀痰吸引その他の医療行為をいう」とされています。また、一般的には、医療的ケアとは、病院などの医療機関以外の場所（学校や自宅など）で日常的に継続して行われる、喀痰吸引や経管栄養、気管切開部の衛生管理、導尿、インスリン注射などの医行為を指します。なお、病気治療のための入院や通院で行われる医行為は含まないとされています。

なお、立川市で実績のあるものは、①痰の吸引、②経管栄養、③気管切開部の衛生管理、④胃ろう又は腸ろう部の衛生管理、⑤人工呼吸器の管理、⑥血糖値測定（その後の処置を含む）となっております。

4. ガイドライン（案）の構成

学校における医療的ケアを進めることができるように、下記の7項目で構成しています。

(1) 本ガイドラインの目的（P1）

⇒医療的ケア実施の基本的な考え方を示すことや事例を明示など。

(2) 学校における医療的ケアの範囲（P1～2）

⇒必要な手続き、ケアの範囲を協議で決定、実施者についてなど。

(3) 対象者（P2）

⇒実施内容や学習活動の計画に合意したものが対象であることなど。

(4) 実施の手続き（P2～3）

⇒教育委員会の提案が必要、実施に向けた合意形成を行うことなど。

(5) 実施体制（P3～5）

⇒教育委員会が指導医を委嘱、学校医療的ケア委員会の設置、個別実施マニュアルの作成など

(6) 学校における医療的ケアの実施に当たっての役割分担（P5～9）

⇒教育委員会、学校、保護者、主治医、指導医、学校看護師（医療的ケア看護職員）等の役割分担など

(7) 安全管理（P9）

⇒緊急時マニュアルの作成、事故への対応・検証など

5. 今後の予定

ガイドライン（案）及び関係する要綱等について、令和5年4月から施行できるように進めます。

以上